

校地内配置の考え方及び 諸室整備方針（案）について （体育館・プール・校庭）

府中市学校施設整備方針 全体方針（案）

1 子どもたちが毎日を健康で安全・安心に、生活し学ぶことができる学校施設	
(1) 安全・安心な学校	① 子どもたちの安全性に配慮した学校施設を整備します ② 十分な防犯性を備えた安心な施設環境を確保します
(2) 健康で快適な学校	① 採光、通風、換気、温度、音等に配慮し、健康で快適な学習環境を整備します ② 温もりのある、落ち着いた空間づくりに配慮します ③ ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使用しやすい環境を整備します
2 子どもたちが生き生きと学び、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を身に付けられる学校施設	
(3) 学習環境の充実	① 一人一人に応じたきめ細やかな学習指導や複数の学級での学習・交流活動ができるよう、多様な学習形態に対応できる学校施設を整備します ② 子どもたちが主体的・対話的で深い学びができる学習環境を整備します ③ 特別支援教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに対応できる多様な学習環境を整備するとともに、誰もが相互に理解し合うことができる環境を整備します
3 学校と地域が連携、活性化し、地域で子どもたちを育てていくことができる学校施設	
(4) 子どもたちの成長を支える学校	① 学校と家庭や地域との連携・協働が図れる環境を整備します ② 地域の特色や独自性を活かし、愛着の持てる学校施設を整備します ③ 教職員がそれぞれの力を発揮し互いに連携し合える、働きやすい環境を整備します ④ 学校管理職がリーダーシップを発揮し、学校経営のしやすい環境を整備します
4 地域の方々の生涯学習・文化・スポーツ活動の場や災害時の避難所の役割を通じて、地域コミュニティの拠点となる学校施設	
(5) 地域コミュニティの拠点となる学校	① 地域住民の生涯学習・文化・スポーツの拠点となるよう、学校施設の有効活用を図ります ② 災害時の避難所運営を踏まえた施設整備を行います
5 公共施設の一つとして、施設の総量抑制や圧縮、財政バランスの維持に向けた手法の検討などの公共施設マネジメントの取組を推進する学校施設	
(6) 持続可能な学校整備	① 計画的かつ確実に老朽化対策を実施するため、長期的な財政見通しを考慮し、財政負担の軽減に努めた学校施設を整備します ② 改築を実施した学校の状況を点検・評価し、その内容を活かした学校施設を整備します ③ 施設環境の良好な維持と維持管理コストの低減が図れるよう、改築実施後のメンテナンスに配慮した学校施設を整備します
(7) 将来の人口動態などに柔軟に対応できる学校	① 将来の人口動態などに応じて、各教室や建物などを他の用途に転用しやすい学校施設を整備します
6 その他	
(8) 環境に配慮した学校	① 省エネルギー・省資源型の学校施設を整備します

体育館・校庭・プール 整備方針（案）

整備方針（案）	
【校庭】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や部活動、集会等の学校活動に支障がない大きさ・仕様とする。 ・校庭は避難所としての機能や地域開放時への対応も考慮し、地上に配置する。 ・近隣住宅への騒音、砂ぼこり等の影響をできるだけ避けるため、配置やグラウンドの材質に配慮する。 ・体育館から近い位置に、防災倉庫を設ける。 ・授業や学校活動で使用する体育器具を設ける。
【体育館】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や部活動、集会等の学校活動に支障がない大きさ・仕様とする。 ・体育館は避難所としての機能や地域開放時への対応も考慮し、原則として地上に配置する。 ・通風、換気、自然採光に配慮したつくりとする。 ・体育館のエントランスにはスロープを設置する。 ・授業や学校活動で使用する体育器具等を収納できるスペースを設ける。 ・催しや式典で使用できるよう、ステージを設置する。 ・災害時の避難所としての運用を想定し、エントランスやトイレ、情報通信設備等の必要な付属機能を設ける。 ・地域開放時の運用を想定し、エントランスやトイレ等の必要な付属機能を設ける。
【プール】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や部活動等の学校活動に支障がない大きさ・仕様とする。 ・原則として地上に配置する。 ・更衣室・シャワー・トイレ・見学スペース等の必要な付属機能を設ける。 ・プールにスロープを設置する。

校地内配置決定までの検討フロー

校地内の「校庭・体育館・プール」の配置は、学校ごとの諸条件や地域特性にも配慮し、校舎配置と共に学校個別の計画のなかで十分に検討を行う。

学校個別の計画検討フロー

① 諸条件整理

- ・敷地条件 : 校地広さ、道路付、インフラ整備等
- ・法的規制 : 都市計画法・建築基準法等
- ・建設条件 : 建替え手順（仮設校舎）等
- ・地域特性 : 学習活動・地域開放・防災等

「八小(早期改築着手校)」の航空写真



校地(赤枠内)および周辺に関する諸条件を整理する

② 複数案の検討（基本構想段階）

- ・学校施設規模（児童・生徒数・複合機能等）
- ・**体育館・校庭・プール配置**
- ・校舎配置（普通教室・特別教室・関係諸室）
- ・建替え中の仮設校舎・代替施設

検討の方向性（案）

全校共通の「整備方針」による配置・プランを基本とするが、限られた校地を有効活用するための案も検討する（例：体育館とプールの一体化等（C案））

[現状]	配置・プラン比較検討		
	A案	B案	C案
校舎3階・南側校庭	校舎3階・南側校庭	校舎3階・北側校庭	校舎4階・西側校庭
特徴（メリット）	同じ場所に建替える	反対側に建替える	校庭を広く確保できる
仮設校舎	必要	不要	必要

③ 計画配置案の決定（基本設計段階）

- ・上記②に加えて、学校づくりワークショップ等実施により計画案を精査してゆく。

校庭における検討

(注) 右下の番号は、関連する全体方針の番号を記載

1

授業や部活動、全校集会等の**学習活動に支障がない大きさ・仕様**とする

【2-(3)-①、②】



①クレーの校庭（府中市立第一中学校）



②体育器具の設置（府中市立第一小学校）

2

地域開放時・災害時の運用に配慮して、**必要な機能**を備える

【4-(5)-①、②】



①防災倉庫（府中市立第一小学校）



③スプリングラー（府中市立第十中学校）

5

校庭の舗装材に関する検討

	クレー	天然芝
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 幅広いスポーツ、競技に対応できる。 維持管理がしやすい。 養生期間等がないため、使用制限がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂ぼこりが立ちにくい。 温度の上昇を抑制する。 緑化が推進できる。 自然・環境学習の場となる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 砂ぼこりが立ちやすい。 日光の照り返しが強い。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの実施状況によって、芝生が養生しにくくなる。 養生期間中に使用が制限される。 維持管理に人の手間とコストがかかる。 導入コストがかかる。



使用制限がなく維持管理しやすいクレーを導入する方針とする。

6

校庭の舗装材に関する検討フロー

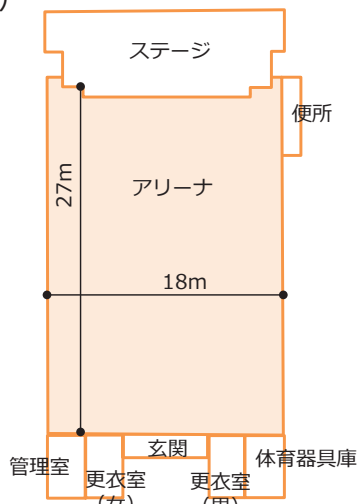


7

小中学校の体育館の現状

■ 小学校
(幅18m×奥行27m)

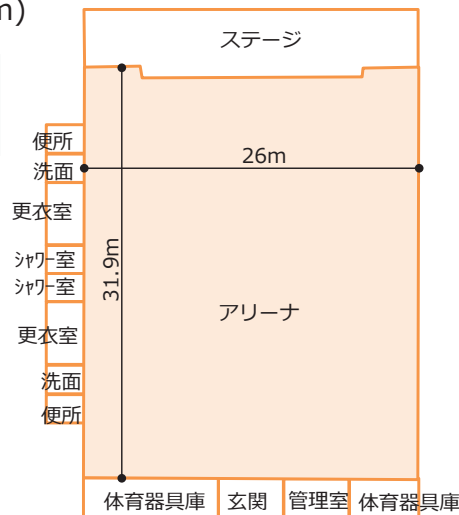
小学校アリーナ
面積平均
(幅18m×奥行27m)



(府中市立第八小学校の例)

■ 中学校
(幅26m×奥行31.9m)

中学校アリーナ
面積平均
(幅26m×奥行30.5m)



(府中市立第一中学校の例)

体育館の使用例

<学習活動>

- ・体育の授業で使用
- ・学芸会、合唱コンクール等の催しで使用
- ・式典や集会で使用

<防災>

- ・避難所で使用

<地域開放>

- ・バスケットボール、バレーボール等の競技で使用
- ・集会等で使用

8

体育館における検討

(注) 右下の番号は、関連する全体方針の番号を記載

1

授業や部活動、全学年集会等の**学習活動**に支障がない**大きさ・仕様**とする
【2-(3)-①、②】



①授業の様子 (府中市立第一中学校)

2

誰もが使用しやすく**快適な環境を整備**する
【1-(2)-①、③】



①スロープの整備(*1)

3

地域開放時・災害時の運用を配慮して**必要な機能**を設ける
【4-(5)-①、②】



①体育館におけるエントランススペース (さいたま市立つばさ小学校)

1



②防災訓練の様子 (府中市立新町小学校)

1



③ステージの設置 (府中市立第一小学校)

1



④体育器具庫の設置 (府中市立日新小学校)

(*1) 文部科学省「近年の災害から学ぶ避難所となる学校施設についてバリアフリー化の取組事例集」

9

プールにおける検討

(注) 右下の番号は、関連する全体方針の番号を記載

1

授業や部活動等の**学習活動**に支障がない**仕様・大きさ**とする
【2-(3)-①】



①小プール (府中市立四谷小学校)

1



②見学スペースの設置 (府中市立第十中学校)

2

誰もが使用しやすく**快適な環境を整備**する
【1-(2)-③】



①スロープの整備 (府中市立第十中学校)

1



③更衣室の設置 (府中市立第十中学校)

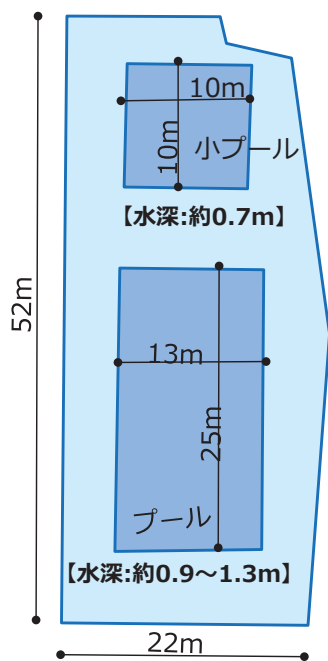
(注) 右下の番号は、関連する全体方針の番号を記載

10

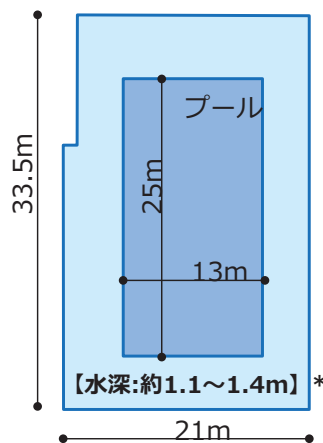
小中学校プールの面積の比較

■小学校 (約1,140㎡*)

■中学校 (約700㎡*)



(府中市立第八小学校の例)



(府中市立第一中学校の例)

中学校より小学校のプールの方が面積が**大きい**

*プールサイドを含んだ面積 (ただし、更衣室・シャワー等の面積を除く)

11

小学校低学年用プールにおける検討

【小プールの運営内容】

- ・小学校1年生と2年生の使用が原則。
- ・学習指導要領上においては、低学年は「水遊び」という授業項目になる。
- ・水泳の授業は学年単位で実施している。

小プールの設置目的

- ・槽が浅いため、低学年が安全にプールを使用できる。
- ・小プールと大プールを複数の学年が同時に利用できるため、効率的な授業運営につながる。

現状の使い方

- ・学年単位で授業を実施する場合、現状の大きさでは狭い。
- ・複数の学年が大プールと小プールを同時に使用することが少ない。

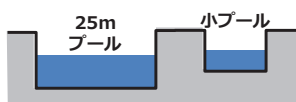


【ギャップの原因】

- ・小プールが十分な大きさでない
- ・ソフト面に沿った整備が行えていない

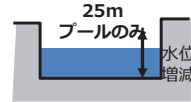
プールのあり方

(1) 小プールあり(2槽)



- ・低学年が小プールを使用し、安全に授業を行えるが、校地面積や維持管理費の問題がある。

(2) 小プールなし(1槽)



- ・校地面積は小さいが、児童の安全を確保するために、水位の調整等に配慮する必要がある。

12